

MEGURIの4隻の実証運航で検証する事項

- 2025年秋頃から予定されているMEGURI実証運航においては、自動運航システムを実際に使用し、船員が自動運航システムを使用して当直を行うに当たり支障のない運航が可能か、また、自動運航システムが船員の負担の軽減に資するかを検証する。
- 実証運航における検証事項（案）は以下のとおり。

検証事項

航行に係るデータ及び当直者等の所見に基づき、以下の検証を実施。

- 船舶を支障なく航行することが可能であったか。
- 船員の作業負担はどのように変化したか。

実証運航時に収集すべきデータの例

- 自船の位置（緯度・経度）、針路及び速力
- 航海計画、航行時間
- 交通のふくそう状況等の特殊な航行状況、分離通行方式等の通行方式の状況
- 自動運航システムを含む航海機器の作動状況
- 気象、海象、視界、航路障害物等の状況
- 音響・発光信号の状況
- 警報等への対応状況